

【未来へつなぐー女子柔道ハンドブック(石川県版)ー】の製作 実施報告書

製作期間	2021年6月14日~2022年2月10日
場所	在宅
人数	7名
配布先	県内中学・高校女子柔道部、登録団体、各都道府県柔道連盟、全日本柔道連盟
発行部数	400部

2021年度COMEBACK女子柔道プロジェクトにおいて、本県では「未来へつなぐー女子柔道ハンドブック(石川県版)ー」を製作いたしましたので、ご報告させていただきます。

1. ハンドブック製作の目的

今回の目的は①「若年層女子選手のサポート」、②「全世代の女性へ向けた柔道への多様な関わり方の広報」の2点です。

近年、摂食障害、無月経、骨粗鬆症などの女性アスリートの健康問題がクローズアップされています。選手時代だけではなく、その後の将来にも影響してくるため、若年層の女子選手に対して、県全体としてサポートする体制を整えていきたいと考えました。

また、本県においては、男子よりも女子のほうが「どこで柔道の区切りをつけるか」という悩みを抱えているケースが多いのが現状です。しかし現在でも、多様な経歴・多様な形で柔道に関わっている女性も多く、その情報の共有ができれば、自身のライフスタイルに合った柔道への関わり方を見出し、本プロジェクトの目的である「カムバック」ができるものと考えました。

2. ハンドブックの内容

内容は昨今の社会問題に対するキーワードでもある「多様性・多面性」「持続可能」をベースに、今現在柔道に取り組んでいる選手やその保護者、指導者、社会に出て柔道から離れている方、これから柔道を始めようと考えている方など、女子柔道に関わる全ての方に役立つ内容を「柔道との関わりについて」「月経について」の各章にまとめました。

また「石川県女子柔道相談窓口」を記載しました。この窓口は、誰もが居心地よく柔道と繋がることのできるようにと今回新たに創設したもので、今後も県柔連として切れ目なくサポートしていく環境である事を示しました。



3. 配布

2022年2月以降に開催される県規模大会にて、指導者（性別不問）や選手に配布、説明をする予定でした。しかし、コロナ禍の影響で2月以降実施予定だった大会がすべて中止となったため、全体に対しては2022年度4月以降の実施へ変更させていただきたく存じます。現在は担当者で可能な限り、学校へ訪問し、配布説明を行なっています。

また、本連盟ホームページ上でも公開し、電子媒体でも閲覧、ダウンロードができるようにいたしました。スマートフォンにダウンロードしていただき、いつでも確認ができるようにしました。

URL:http://www.judo-ishikawa.com/judo/news/entry_696.html

4. 終わりに

本県でのカムバック女子柔道プロジェクトの取り組みは、
2019年度

【みんなの柔道—誰もが居心地の良い石川県柔道を考える—】ワークショップ

2020年度

【柔道との関わりを考えよう—栄養サポート講習会—】

そして2021年度にはこのように

【未来へつなぐ—女子柔道ハンドブック（石川県版）—】の製作

と、3歩目も踏み出すことができました。このハンドブックが女子選手をはじめ、女子柔道に関わる方の疑問や不安の解消の一助となれば幸いです。

また、僭越ではありますが、各都道府県それぞれの特色あるハンドブックがあれば、更に女子柔道の普及振興になるのではと考え、タイトルに「石川県版」と表示いたしました。今後同ような取り組みが広がれば嬉しく思います。

最後になりますが、本年度もこのような機会を与えてくださった全日本柔道連盟さま、冊子製作にあたりアドバイスをいただきました埼玉県女子柔道振興委員会さま、ご寄稿を賜りました石川県女子柔道関係者の皆さまをはじめ関係各位に感謝申し上げ、実施報告書とさせていただきます。

石川県柔道連盟

小倉 泰子